

新潟大学特色GP「総合大学における外国語教育の新しいモデル」  
第1回シンポジウム「総合大学における初修外国語教育の意義」(2009.1.24)

SEIKI

## e-learning 活用型中国語教育 “游” の試み

成蹊大学 湯山トミ子・武田紀子



### 報告概要

- 1 “游”—— 初修外国語教育改革の試み(現代GP取組事業)
- 2 教育プラン“游”—— 基礎力活用型中国語人材の育成
- 3 システム“游”—— 基礎力活用型中国語教育の支援  
学び手と教え手を創造主体とする教育  
学習者主体の教育への試み
- 4 効果と課題 —— 教育効果と課題

### “游” (yóu) とは

- 中国語のコミュニケーション世界で、学習者が自由に遊び、学ぶ意味
- 中国語読みのローマ字表記“you”=英語「あなた」、学ぶ主体である学生を象徴
- 教育プラン名・システム名

⇒ 平成18年度現代GP採択取組  
(部門6「ニーズに基づく人材育成を目指したe-Learning Programの開発」)

「進化する教養教育と国際化新人材の育成  
—— 基礎力活用による中国語コミュニケーション能力育成展開プラン“游”」

<http://133.220.106.221/index.html>

- 成蹊大学が平成12年度から試みてきたICT(情報伝達技術)による中国語教育の展開
- 教養課程における初修外国語教育改善プラン(基礎力活用型中国語教育の実現)
- 総合的e-Learning教育システム

### 取組の背景と目的

#### 基本状況

- グローバル化の進む国際社会 中国語、中国語人材の需要増大
- 英中両言語を使える人材 世界、アジアに多いが、日本には少ない
- 非専門分野における中国語人材の必要性と不足

#### 大学教育と中国語

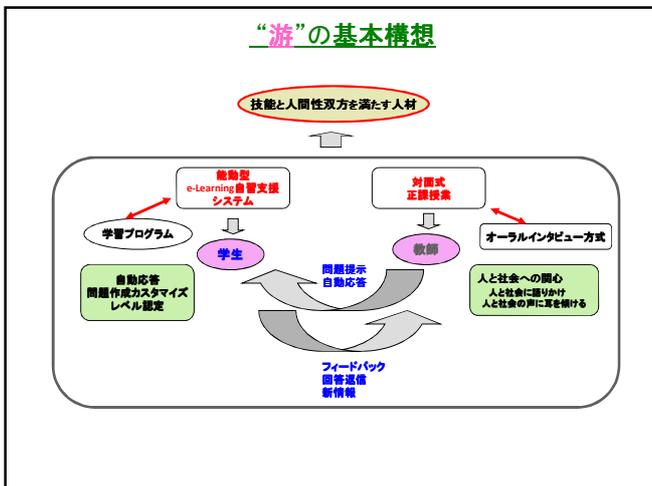
- 日本でもっとも多くの人材が中国語を学ぶ場としての大学第二外国語
- 入学者の3割~4割が求める中国語学習
- 使える言語、コミュニケーション言語(話し聞ける)の習得要望

#### 短期間に初中級を学ぶ教養中国語教育の現状と課題

- 授業時間数の制約と音声教育が重要な中国語の特徴
- 大量の学生が学びながら中国語を運用できる人材が育成されていない

#### 大学教養課程における中国語教育の改善

- 基礎教育で、短期間に、確実に、質の高い音声教育を行い、単語力を増強し、平易な表現で対話できる基礎力活用型中国語人材を育成し、社会と学生のニーズに応える
- 有効な補助手段としてのe-Learningシステムの開発



### 技能と人格の涵養

目標: コミュニケーションできる語学的技能の習得

運用する人間としての内的涵養

⇒ 人と社会に語りかけ、人と社会の声に耳を傾けることのできる人の育成

方法: 汎用性の高い自習支援型e-Learningシステムの複合利用

オーラルインタビュー方式による独自の対面式正課授業

- オーラルインタビュー方式(口述史の方法論の援用)
- 反射神経と速度を要する日常会話能力とは異なる口語教育の実践
- コミュニケーションの為の語学的技能と人と社会に対する理解力、知的関心の養成

## “游” システム

**基礎力活用型中国語教育を実現するための為の支援システム**

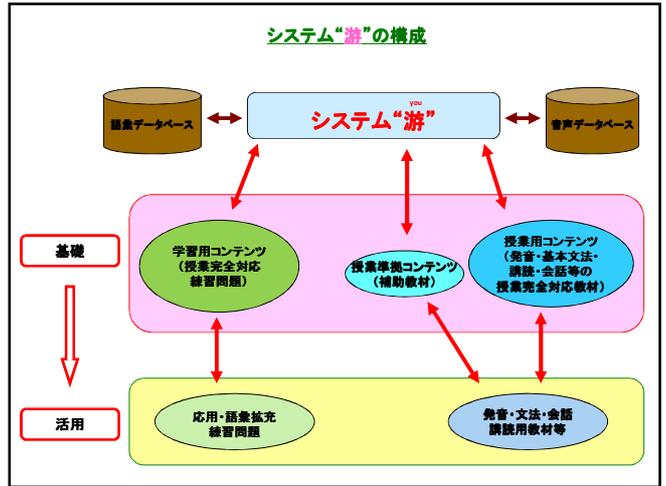
**基本:** 中国語の言語学的特徴と教養教育の時間的制約

**学習者の負担を軽減する音声学習・短期間・確実な運用力習得**

⇒ 短期間に、効果的、効率的な音声教育を行い、語彙力を増加し、平易な表現によるコミュニケーション力の習得を支援する

**特色:** 学習者の個別状況(意欲、関心、レベル)への呼応  
 エンドユーザ能動型学習機能  
 学習者による学習情報の発信

⇒ 学習者主体の教育の実現  
 学び手と教え手を創造主体とする教育の実現 (教育の質的改革を内包)



## 二段階【基礎・活用】 三系統【授業用・授業準備用コンテンツ・学習プログラム】

- ・基本コンテンツ(H12~20)
  - ・発音 「中国語の発音—基礎編」
  - ・発音と語法学習の連係「発音と語法の基礎」
  - ・語彙力増強「マルチメディアビクチャーディクショナリー」
- ・学習プログラム(H18~20)
  - ・多様な教材(講義・会話・時事など)の提供
  - ・多様な演習問題(授業準備・中検対応・応用など)の提示と自動採点
  - ・学習状況の履歴の取得
- ・語彙学習データバンク
  - ・「中国語音声教育DBシステム」(H18~20)  
(語彙数11万、音声数30万、多種多様な検索機能 汎用版と簡易入門版)
  - ・補語、類義語等データと用例

## 中国語の言語学的特徴

**単音節孤立語:** ⇒ 1音節の発音重要 **精度** 「一字・一音・一義」の原則  
 聞きさせるせるコミュニケーション言語能力重要

**声調言語:** ⇒ 母語(非声調言語)の干渉 **難しい**  
 最終的な意味の弁別を担う声調習得不可欠

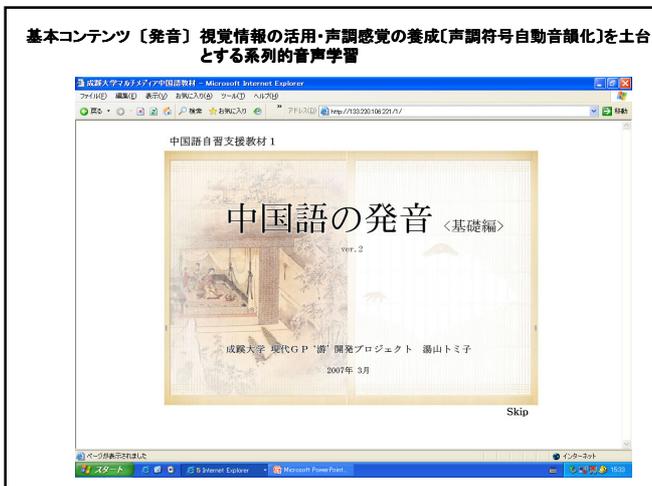
**表義文字:** ⇒ **情報量が多い** **大変** 1音節、1文字の記憶、習得  
 ⇒ 文字・音声・意味・音声表記法ピンイン(ローマ字綴り+声調符号=複合表記)

\* 日常生活で漢字を使用する日本人学習者の場合  
 漢字のもつ同一性に頼り、音声学習を軽視する傾向  
 音声を重視する習慣を養成する必要

中国語⇒ **音声習得の重要性**、  
 学習者の習得、記憶すべき言語情報の多さ  
 ⇒ **学習者の負担が大きい**

⇒ 負担を軽減し、効果的、効率的な学習を実現する

⇒ **系統的、有機的な学習法が必要**



## 声調波形表示機能

**中国語の言語学的特長+母語日本語・日本人学習者の課題**

中国語の音声的特徴(一音節で曲線的に急激に変化)  
 日本語の音声的特徴(平板で狭い音域、段階アクセント)

⇒ 日本人学習者の発音学習には相応の努力が必要

**内容:** 模範音声と学習者の発音状況の相違(高低・強弱・緩急)を瞬時に提示  
**視覚的に対比**

**効果:** 学習者が自力で自己の発音を認知し、欠陥を矯正できる。

**声調学習⇒個人差が大きい(使用音域と習得度の差)**

⇒ 個々の発音特徴を視覚的に認知し、個別に矯正できる効果は極めて大きい

教授者がいる場合には、学習者の発音特徴を言葉による伝達の制約を受けずに学習者と習得状況を共有できる利点をもつ

12

**音の高低(縦軸)、強弱(色の濃淡)、緩急(時間横軸)を瞬時に提示し、視覚的に発音を認識し、自己矯正できる**

声調基本練習 / 点検 (総合連音練習)

### 総合連音練習

1. 二音節

一声 二声 三声 四声 轻声

一声 二声 三声 四声

波形表示機能

録音 停止 呼出 保存 連発 分割

mǒ mǒ

模範の声+自分の声

365 Hz

70 Hz

0.5sec

close

13

**視覚情報の活用による音声教育 (声調符号の自動音韻化・声調波形・遷移矢印)**

声調基本練習 / 変調

### 第三声の変調の練習

録音 停止 呼出 保存 連発 分割

mǒ mǒ mǒ mǒ mǒ

模範の声 再生

365 Hz

70 Hz

1sec

自分の声 再生

365 Hz

70 Hz

1sec

再生 波形 戻る

**音声聞きながら、ネイティブスピーカーの模範口形をムービービデオで理解し、舌の位置と唇の動きを動画で確認しながら、声調と正しい発音の口形練習を行い、声調波形で確認する。**

基本発音と声調 / 母音 / 複合母音

### 複合母音 12

iao iou uai uei (中ポイント型)

- 口をまるめる時に ai, iu が日本語の「ウ」にならないように。
- 「ウ・ア・エイ」と三音節にならないように。
- なめらかに、シグナートに!

波形表示機能

録音 停止 呼出 保存 連発 分割

wǎi

模範の声 再生

365 Hz

70 Hz

close

音声 再生 波形 戻る

**基本コンテンツ: 発音と語法の関係 授業完全同期型WEB教材**

成蹊大学システム学中国語教材 Microsoft Internet Explorer

発音と語法の基礎

SKUC 教材開発プロジェクト 編

Skipe

**視覚情報 文字・動画の活用 練習1 (ビデオ付会話)**

第2課 | 来了没有? | 来たの?

■ 動詞述語文 II 已然と未然・疑問文[正反・“吗”]

課文 単語 語法説明 インタネーション 発音クリエック 単語学習 練習 追加問題

说一说 shuō yi shuō | 意味を考えながら、会話してみよう!(1) 1 2 3 文字 練習

第1課

第2課

第3課

第4課

第5課

まとの①

第6課

第7課

第8課

まとの②

第9課

第10課

第11課

第12課

**視覚情報の多様な提示⇒学習者による選択 (個人の学習状況による活用、記憶の強化)**

第2課 | 来了没有? | 来たの?

■ 動詞述語文 II 已然と未然・疑問文[正反・“吗”]

課文 単語 語法説明 インタネーション 発音クリエック 単語学習 練習 追加問題

★ 語調練習 yǎodiào liànxí (インタネーション練習) 1 2 3 4

2

米

米了

已经米了

他们已经米了

他们已经米了吗?

第1課

第2課

第3課

第4課

第5課

まとの①

第6課

第7課

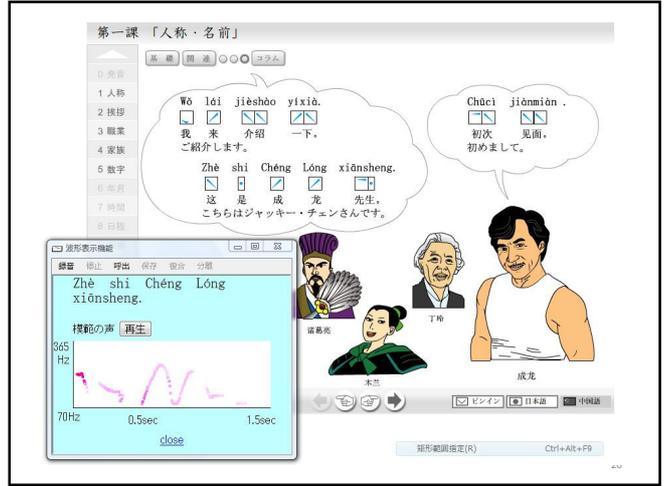
第8課

第9課

まとの②

第10課

第11課



**学習プログラム:**

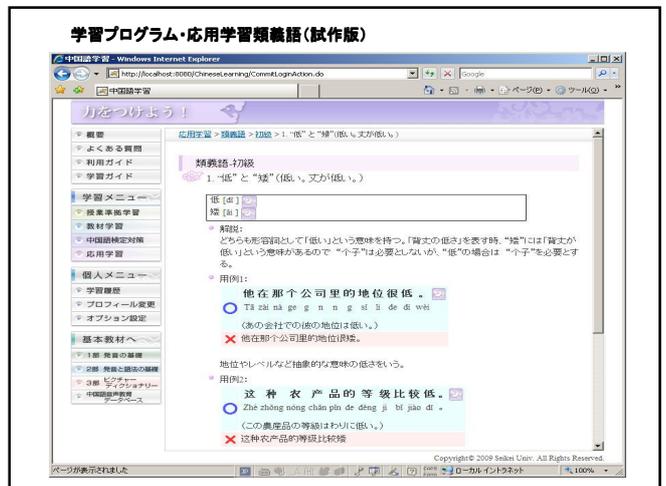
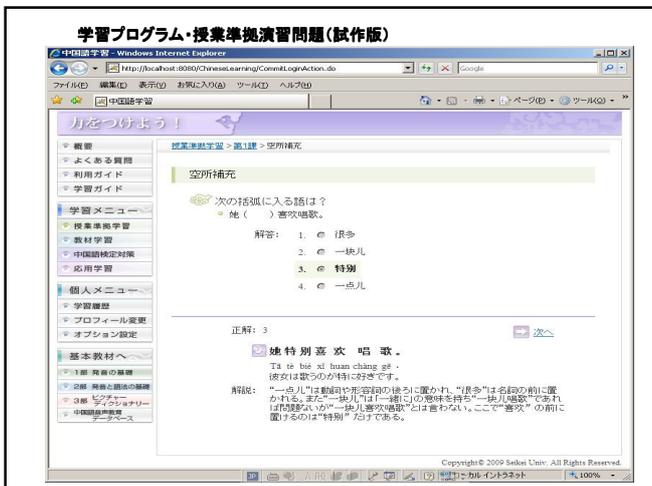
- エンデュザ能動型学習機能
- 自動応答機能・正誤判定
- 弱点・最適問題の提示

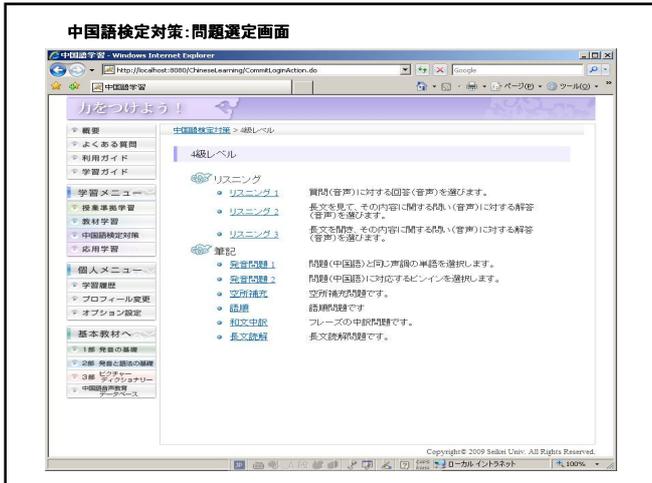
**特長**

- ・演習問題の自動採点
- ・各学習者の学習履歴により、各自の弱点を提示
- ・このアドバイスを参考に、学習者は、学習プログラムを選択、指定

**対象**

- ・基本テキスト『発音と語法の基礎』準拠学習プログラム
- ・各種授業教材(講読、会話、時事)準拠学習プログラム
- ・応用学習(類義語・誤用例・日中同形異義語など)
- ・中国語検定試験対策プログラム





### 履歴の活用

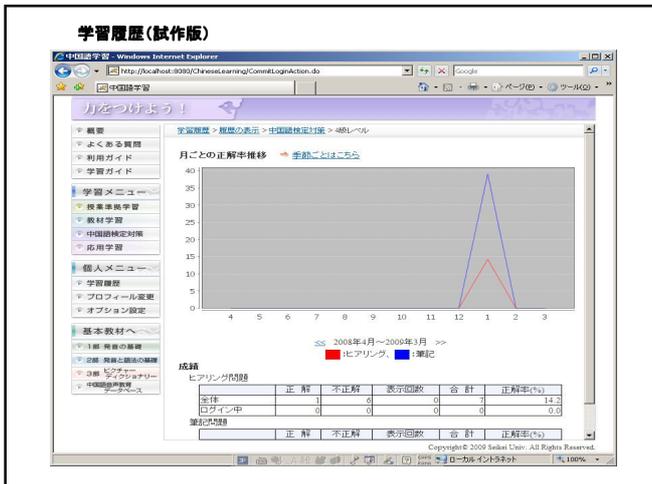
採点履歴をもとに、  
**学習者の状況を把握**  
 誤答した問題を繰り返し提示することにより、学習を定着化させる

**【学習者】**

- 間違えた問題が繰り返し提示されることで、**弱点を克服する**
- 学習履歴により、自分の弱点を把握し、**克服のための問題を選択する**  
 例) 韻母・声母の聞き分けが不十分  
 韻母・声母の聞き分け問題を練習
- 学習意欲の向上に役立つ**  
 例) 中国語検定対策問題の学習結果により、実際の検定試験の受験意欲が増す。合格すれば、更に上の級を目指すための学習意欲も起こる

**【教師】**

- 学習履歴により、**学習者の欠点(全体、個人)が分かり、教育に反映できる**
- 学習状況の把握により、**学習者の学習意欲が把握できる**



### e-Learningシステム使用による教育効果

**① 学習者の負担を軽減し、効果的な習得を実現**

**【要因】**

- 視覚情報を用いたコンテンツの活用(声調波形機能、画像、動画)
- 個々の学習者に対する指導(CALL機能)と机間巡視による集団練習の組合せ学習(フレンドィッド型、個人練習と集合練習の相乗効果、個人差に対応)
- 授業完全同期型コンテンツによる自習支援率の急増による習得率の向上(予習・復習に役立つ、成績にも直結)

**② 教育の質的改善**

- 達成感の充足、学習意欲の向上によるモチベーションの強化、**意欲的な学習主体の創出**
- 視覚学習の効果: 自己の学習を客観的、分析的に見つめる資質と意欲の向上
- 個別指導(CALL機能)により**学習者と教師の間に親密感と信頼感が育成**
- 学習者の学習到達度、学習意欲の向上により**教師の教育意欲が刺激され、良性的教育循環が創出**

### e-learning活用型中国語教育の意義

- 基礎力活用型中国語人材育成  
非専門分野における人材育成
- 語学教育支援システムとしてのe-learning  
効率的、効果的な語学教育の達成  
教育の質的改善

意欲的な教育主体の創出  
 学習者と教師の良性的教育循環  
 学び手と教える側をともに主体とする教育の創造

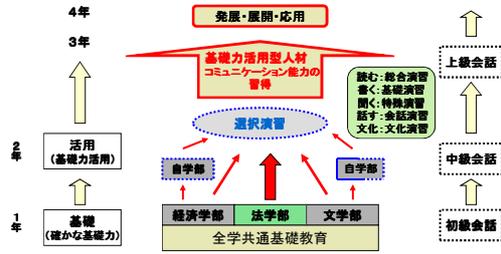
学ぶことへの自立性と主体性をもった学習者の創造

### 終わりに〔課題〕

- カリキュラム改革による枠組みの変化  
初修外国語⇒第二外国語制度廃止(卒業要件より除外)  
教養科目としての単位枠内で存続  
\* 過小クラス解消のためのクラスルールの適用(!?)  
多言語主義・少人数化教育とは異なる逆流の出現
- 運用の問題  
学習環境確保の問題(call教室の不足)  
システムの保守・更新にかかる費用の捻出
- e-Learningを活用した基礎力活用型初修外国語教育の課題  
基礎力の活用により、どこまで学習の継続を維持し、活用性を持つ学習者を増やせるか?

**“遊”の実施体制 教育課程(e-Learningコース 初案)**

- ・一般教養課程 卒業必修科目としてのコースは設定しない
- ・基礎教育と選択科目を対象に、基礎力の習得、活用、展開の三段階により実施
- ・エンドユーザ能動型e-Learning 学習支援システム
- ・外国語習得のための四技能(読む・書く・聞く・話す)に対応した科目
- ・義務(授業用予習・復習)と自主利用の2方法を通じて使用



ありがとうございました。

終わり



<http://133.220.106.221/index.html>